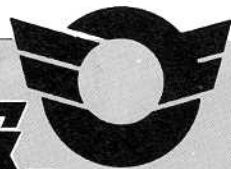


保育園からこんには

アンパンマン

やすえけんいちろうくん(六歳・平)

神土保育園



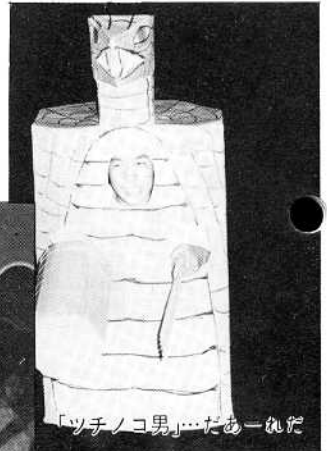
No. 342 8/15

広報 ひがししかわ

発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
■☎(05747)8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社



「あきノリダー」対「ツチノコ男」の対決に見入る観衆……西洞センター広場にて



「ツチノコ男」……だあーれだ



「あきノリダー」……だあーれだ

行事は今、集落を越えた！

夏の夜を着飾る浴衣姿の子供たち。お祭り広場は、いま、若者のアイディアを凝した余興に年々にぎやかさを増しています。

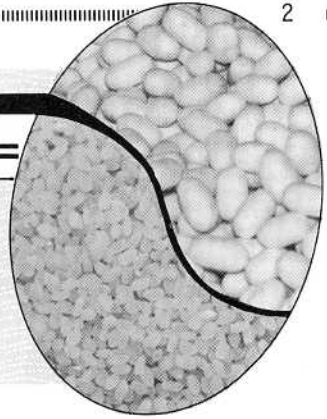
工区単位で進めてきたほ場整備事業が、「夕テ割り」の集落から「横のつながり」をもった地区行事を生みだしたのです。

7月30日、親田地区の盆踊り大会。31日には、中谷・加舎尾・西洞の3集落合同盆踊り大会（関連記事9ページ）が開かれ、大勢の人出でにぎわいました。

人口の動き

—7月末住民登録人口から—
世帯数……………913世帯
人口……………3,520人
転入……………3人
転出……………8人
出生……………4人
死亡……………1人

先月と比較して2人減
昨年と同月と比較して39人減



農業

村の産業を考える = 2 =

稲作と養蚕

立村百年に

新しい稲作の幕明け

米と繭、長い日本農業の歴史のなかで、共に相譲ら

ぬチャンピオンでした。今では農家さえ意識のかたす

みに追いやっているこの二つの分野が、新しい局面を

迎えようとしています。

村を支えた稲作の現状は今……

稲作は、かつて農家の最も安定した収入源として、農産物中のトップを占めていましたが、現在、農業分野のどのくらいの位置にあるのでしょうか。

昭和六十三年農業生産のまとめによれば、村全体の農業総生産額は約九億円。前年に比較して一割伸びているのに対し、水稻が占める割合は、十一割、九千八百万円に止まり、畜産・緑茶・園芸作物に次ぐ四番目。しかも前年度対比では、二十三割も減取しているのです。

この現象は、全国的な生産過剰問題による生産調整によるものですが、本村のように水稻作付面積が一戸当たり平均二十二町という零細農家では、非常に

大きな意味を持った数字です。

生産された米のうち、自家用飯米を取った残りを政府売渡米として販売しますが、その額は生産額の約三分の一。わずか三千三百万円に過ぎないのです。つまり、生産した米の六十六割は自家用飯米として消費されているのです。ところが、この自家用飯米と政府売渡米を合しても、その収入は十アール当り十六万円。これでは「米を作っても勘定に合わない」と言われるのも無理ありません。

しかし、見方を変えると、勘定に合わない最大の原因は、採算を度外視した農業機械の過剰投資にあります。これを裏付ける資料として、東白川村営農対策室では昨年の実績を基にこんなデータを出しました。

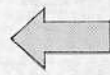


田植



耕起

こちら個人



こちら営農組合



利用料は10a当たり単価



田植え 5600円

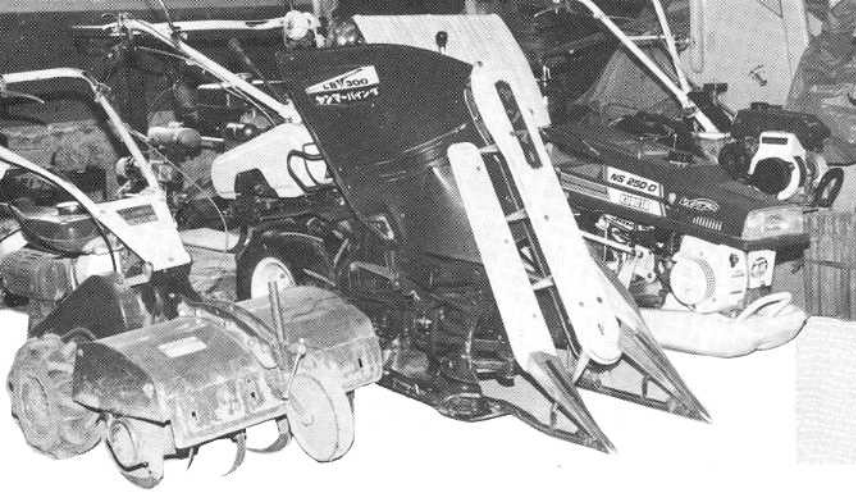


田かき(荒がき代がき) 6600円



秋耕起 4600円

変りゆく



稲作機械が多すぎる！

現在、村にある稲作関係の機械保有台数は、大小含め千六百七十一台。これを戸数割りすると、一戸当たり平均四・三台の機械を保有していることになり、稲作に必要な機械は農家一戸当たり一にひと通り揃っているという数字です。しかし、これだけの機械を保有している農家の七十割は、水稲で二十万円未満の販売額しか上げておらず、残りの二十九割の農家も二十〜五十万円。そして五十〜百万円の農家がわずか一戸という現状ですから、驚かされます。

さらに、この手持ちの機械を使って水稲作業の全部を行った場合の経費総額は、十町当たりで約二十八万円もかかるという試算です。これは、機械の償却費から苗代、自家労費まですべて見込んでの数字ですが、前述した十六万円の収入では、十二万円の赤字です。しかも自家用飯米を計算に入れないとすれば、約十九万円もの赤字になってしまいます。

植付けから籾すりまで機械化

これでは、「米を作っても勘定が合わない」のではなく、米を作るほど赤字を大きくするばかりです。

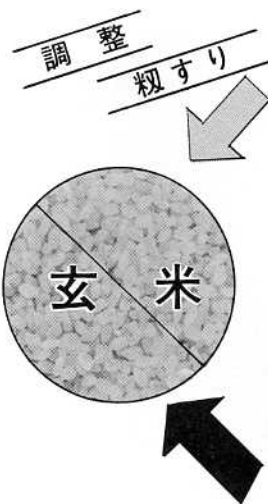
かりです。

採算が取れるよう経営しているかたには、これ以上の投資は行わず、作業の省力化を図って少しでも経費を抑えることが必要です。昭和六十三年に機械化営農組合が設立されて、稲作の受委託作業に踏み切ったのもその理由からです。

この点についても、村策室の裏付け資料があり、作業を委託しない場合は、最底五十町の作付を行わないと採算が取れませんが、耕起から籾すりまでの作業をすべて委託した場合は、10町の作付で三万二千円ほどの黒字になるとい試算です。いずれの場合も生産した米をすべて販売したという条件でのことですが、一つ含まれていないのが、今ある機械の償却費です。現在ある機械を遊ばせては、結局、償却費の分だけ経費に食い込むことになるため、償却するまで手持ちの機械を有効に利用することを、考え併せていくことが必要です。

今年度、全村の区画整理が完了します。そして、機械化営農の最終課題であった、コンバイン、ライスセンターが導入され、新しく刈取りから籾すりまでの受託内容を加え、立村百年の記念すべき年に水稲の機械化一貫体系が確立されるのです。

(次ページへつづく)



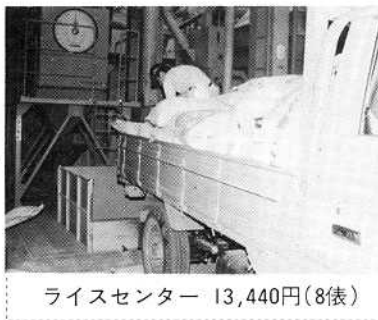
脱穀



はぎ掛け



稲刈り



ライスセンター 13,440円(8俵)



コンバイン 13,200円



はぎ千米対生ごき米の食べ比べ五分
—昨年の産業祭にて—

この秋
米はライスセンターへ集合！

新農業構造改善事業で建設中のライスセンターは、この秋の刈取りから利用できるよう、十月五日を工期に進められています。総事業費は一億二千二百万円、その財源の内八十割が国・県・村の補助金です。用地は、村内十箇所の候補地の中から、中通の村雲勇さん宅下に決定。施設の能力は、作付面積の八十割、五十割—四千俵—分の処理ができます。コンバインは二台を購入する計画ですが、その性能については昨年の広報十月号に掲載したとおり、倒伏した稲にも威力を発揮し見学者を魅了したあの日が、もう今年の秋には現実になるのです。

さて、一番気になるのがこの秋のコンバインとライスセンターの利用料ですが、十割当たりの標準単価でコンバインによる刈取りが一万三千二百円、ライスセンターは、十割当たりおよ

そ一万三千四百四十円となりま
す。これによって、従来の稲刈
り・はぎ掛け・脱穀・調整・糲すり
までの作業が、手を煩わすこと
なく十割当たり約二万六千六百
四十円で済むことになるのです。
あなたの日当で換算したら何日
分ですか……

センターでの自家米は同品質で

ライスセンターの導入で、農
家の方から一番多く出た声は、
「自分で作った米が食べられない」ということでしたが、共同化を進めるためには、どうしても避けて通ることのできない道なのです。ただし、ライスセンターから自家用飯米として還元を受ける米は、持ち込まれたときの粳と同じ品種・等級のものが玄米で渡されます。逆に、品種や等級を変えることはできません。このように、コンバイン、ライスセンターの導入によって新しい稲作が平成元年にスタートしたわけですが、これからの稲作は下親田の安江麻一さんに聞いたこの言葉に尽きるのではないのでしょうか。

「稲作は永遠に続くものだから古いことにこだわらず、今の若い人たちが年を取っても続けられる体制にしておくことがわしらの使命だろう。文化生活は金を取りながら維持することだ



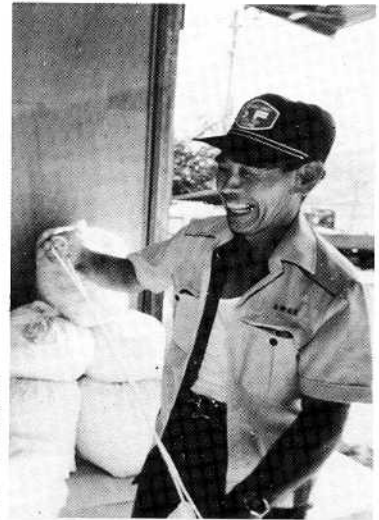
いま
シルクに熱いまなざし

関連記事＝ 8 ページ＝



春繭価格
史上最高で決定！

七月二十日、久し振りに「養蚕速報」が流された。養蚕担当者の弾むような心持ちが伝わって来る紙面に、大きく打たれた見出しは「元年度春繭価格史上最高で決定!!」と、胸を張って



かをうかがうことができません。発表された繭価は一鈴当たり三千二百六円と、昨年の一・二四倍。二年前の約二倍にも伸びたのです。この数字を素人的に見れば、「今年の

養蚕農家は景気がいいなあ」ということになりました。

しかし二年前三十四戸あった養蚕農家が翌年一・六倍に価格が伸びたにもかかわらず、二十九戸に減少したことはこれまでの価格がいかに安かったかを物語り、養蚕農家にしてみれば、「やっとここまできたか」という言葉に変わります。

養蚕もかつては、稲作と並ぶ村の重要な産業として、人々の暮らしを支えてきましたが、現在は稲作に次ぐ五番目になり、その経営も専業タイプから水稲、肉牛、トマト、しいたけといった作目と組み合わせた複合タイプに変わっています。

昭和六十三年に二十九戸の農家が上げた総販売額は、二千一万八千円。一戸当たり平均六十九万三千円となっていますが、今年の春の好況を、養蚕農家はどう受け止めているのでしょうか。

告知できる吉報であった。さらに、「暗い長いトンネルを抜け出すような気がします」と表現された言葉に、どれほどこの日を待ち望んだこと

見え始めた明るい養蚕経営

七月二十四日、午前六時三十

分。(旧)神付センターでは、早くも夏蚕繭の出荷が始まりました。トラックに山積みされた繭が次々と農家から持ち込まれると、みなさんが手きわ良くそれぞれの持ち場について作業が進められていきます。養蚕農家は二十九戸という小世帯ですが、こうした作業もすべて共同

みんな家族同様ののです。年代ものの選繭台を取り囲んで作業を進めながらも、口々に「春繭は良かったなあ」「今度もいいだろなあ」と会話が弾み

笑顔がこぼれます。

この道約四十年の今井好美さん(西洞)は、「こんなに明るいみんなの顔を見るのは久しぶり。昨年までは、お金になる出荷のときでさえ、みんな嫌悪が

悪かった」。西洞の河田広道さんは、夫婦で勤めに出ながらもこの春、百八十四頭の繭を出荷した第二種兼業タイプの農家ですが、「このまま繭価が続けば」という質問に、「価格が低落した二年前までは、今の形態で約二百五十

頭ほど出荷していたから、この価格ならもう一度挑戦してもいいなあ。また下親田の田口耐さん、そのほかの皆さんからも明るい返事が返ってきました。では、なぜ今になって繭価が伸びたのでしょうか。これまで絹は和装品が主体でしたが、最近の高級志向で礼装類から普段着類へ、外衣類から肌着類へ、婦人物から紳士物へと需要が伸びてきたためですが、それに見合う供給がなく、いままぐ増産できるものでもないからです。

今や、主婦が養蚕のこなめ

しかし、河田さんにしろ田口さんにしろ兼業タイプであり、この日出荷に来た約半数は女性が占めていたということは、現



選繭台を囲んで会話が弾む！

在の村の養蚕経営は女性主体なのでしようか。

進む人工飼料化／増える用途／

農協の営農指導課長に尋ねてみました。「養蚕は女性の手でも出来るんですか?」「今の養蚕経営は、大ざっぱに見れば女性主体です。女性にでも出来るようにいろいろな分野で省力化が進められてきた結果です。つまり、忙しいときや重労働を要するときはだけ男手があれば、飼育は女性やお年寄の方でも出来るんです。ただし、飼育量にはどうしても限界があり、女性一人では百頭ほどの生産が限度でしょう。家事もありますからね。」

女性のあこがれの絹は、今や女性自らの手で生産されようとしていきます。たとえば奥さんが一人で百頭の繭をとり、これに春の価格を

掛け合わせると三十万二千六百元の収入になります。

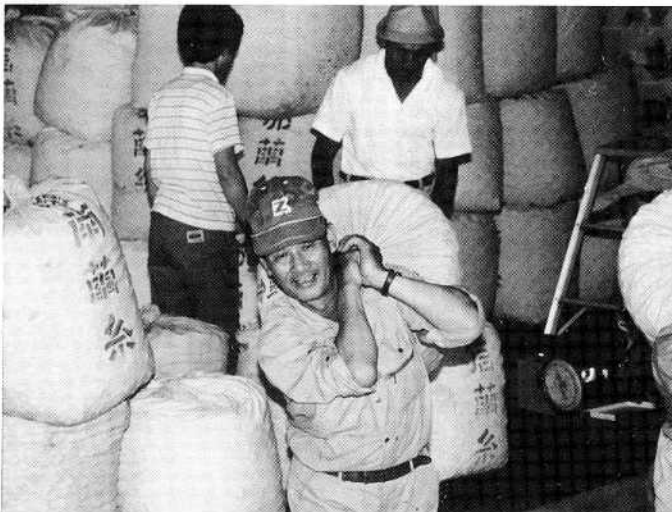
養蚕の収益率は六十五割が標準といわれますから、約十九万六千円の月収ということになります。

村のパート賃金の平均を五百三十円として、一日八時間、二十五日間働いても十万六千円ですから、副収入としては最高でしょう。

ここで一つ説明しておかなければならないことは、養蚕のシステムです。今、月収という言葉を使いま

したが、養蚕の飼育は五月から十月まで行い、その間に約五回の出荷を行います。出荷ごとに販売額が入りますから、五回とも出荷すれば五か月間は月給をもらっていることと同じになるわけです。

今やシルクは、化粧



集められた繭は恵那繭糸へと運ばれる

品、医療、医薬品、食料品(シルクドリンク、シルクゼリー)の分野まで進出し研究が進められています。また、桑の代わりに大豆などを主成分とした人工飼料や、キャベツ、リンゴなどを食べる蚕の開発が進んでいます。この人工飼料化が進めば、これまで何度も泣かされた凍霜害の心配も消えうせ、農地を持たない家庭でも飼育できるようになるかもしれません。養蚕は、これからはばらく目を離せない注目株のひとつです。

わっ! おっかいー さくらじまだいこん!



百年の思い出づくりに...

チャレンジ

あなたも挑戦してみませんか!



9年前の村民運動会 仮装のシーン

「立村百年記念」と銘を打った行事が、集落・団体などで目白押しとなってきました。村で企画している記念大会、記念展示会、記念祭の開催は十一月です。中でも、十九日に行う記念祭イベントの一つ「集落対抗ジャンボ野菜コンテスト」と「仮装大会」は、村民皆さんの参加型イベントとして期待されます。

「名人称」はだれの手へ： 集落対抗 ジャンボ野菜コンテスト

「立村百年を契機に、農業の楽しさを再確認しよう」という呼び掛けで、各営農組合、農事改良組合の協力をいただいて「立村百年記念『集落対抗ジャンボ野菜コンテスト』」を行います。

このコンテストは、桜島大根・大根・赤カブ・白菜の四部門で行い、使用する種子は事務局で配布したものとします。

この四種類の種子は、いずれもコンテスト用で、一般のものとは区別できるように特徴のあるものを用意しました。

コンクールへの参加資格は、特にありません。農家以外の方でもプランターなどで栽培し挑戦してみてください。

種をまく時期は、八月中旬から下旬の間ですが、九月初旬でもなんとか間に合います。

種子は、各集落の農事改良組合長・営農組合長、または役場農務課で受取ってください。

コンテストの方法は、種類ごとに各集落で一番大きなもの各一点を選んで、十一月十九日の記念祭に出品していただきます。そして、大きさにより順位を決め、個人賞と団体賞にわけて、記念祭の席上で表彰を行います。

◆大ききの決め方
桜島大根―胴回り寸法

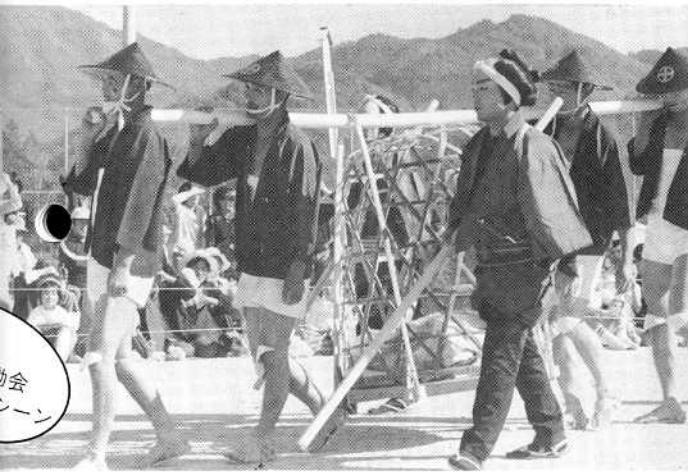
大、根―重さ(葉を除く)
白、菜―重さ
赤かぶ―直径

表彰は、団体が上位五位まで、個人は上位三位までとします。特に個人で一位になった人には「東白川村野菜つくり名人」の称号を贈ります。

みなさんで「ジャンボ野菜つくり」に今から挑戦しましょう。

◆参加についての問い合わせは
役場農務課(有線二二六一)まで

ユニークさを祝おう



運動会シーン

- ◆戸籍の窓 七月―敬称略
誕生おめでとうございます
- (宮代) 安江 道雄 千佐子 孝子
(陰地) 菊田 正敏 さゆり 幸美
(西洞) 田口 昌弘 浩子 典央
(大口) 古田 昭則 祐樹 恵子
- いつまでもおしあわせに
- (古田) 辰夫(上親田)
(三浦) 美香(加子母村)
(今井) 竜生(平)
(三宅) 友子(岐阜市)
(田中) 正人(白川町)
(安江) 三千代(栃山)
(田淵) 稲穂(犬山市)
(栗本) 克枝(柏本)
(安江) 智治(平)
(山口) 敦子(岐阜市)
おくやみ申し上げます
- 安江 乙江 88歳(大明神)
◆善意の寄付 敬称略
〔社会福祉指定寄付〕
現金十万円―村雲勇市(曲坂)
現金五万円―安江幹夫(大明神)
〔公共施設へ〕
竹ぼうき八本―座敷ぼうき一本
本―青木莊治(名古屋市緑区)
◆訂正 先月号今井大作さん
寄付の平均台一台は二台の誤り。おわびし訂正します。



練習に熱が入ってきた…「白浪五人男」の一場面

見ごたえ充分！たのしみな歌舞伎公演

東白川村歌舞伎愛好会では、9月23日に公演を控えて早くも練習が始っています。

今年は、立村百年を記念した特別企画が加わり、四幕が上演されます。中でも、立村百年を祝う「寿三番叟」は、小中学生14人が舞い踊り。記念公演「白浪五人男」は、村長、議長、各種団体長らの特別出演によって上演されます。

一番の見せものは、熟練者らが演じる「絵本太功記」と「伽羅先代萩」。この2本は、歌舞伎界の名作中の名作です。どうぞおたのしみに…

仮装大会で

夢の世界へ

飛び込んでみよう

人には誰しも、あこがれや夢があります。しかし、現実はなかなか思い通りに進まないものです。

「わたしのあこがれ」「わたしの夢」。現実の生活を抜け出して一気に夢の世界へ飛び込んでみる。それが仮装のおもしろみでしょう。

十一月十九日の記念祭では、立村百年を記念して「仮装大会」

を行います。参加は、集落でもグループでも個人でも結構です。

まだ期間はありますが、今から何かの集りや会議の中で話題に取り上げ、準備に入ればすばらしいものが出来上がると思えます。

下段の写真三点は、昭和五十年に村民運動会の余興として行われた仮装の一コマです。

大会の詳細については、追ってチラシ等でお知らせしますが内容は自由。過去から未来まで世界に目を向けた自由な発想でどしどし参加してください。

アッティアッ

立村百年



深めよう！ 香良洲町との交流

お宅の夏休み、どうお過ごしですか…

食事に、旅行に、海水浴に楽しいプランが立てられていることと思います。「まだ何も計画していない」「どこへ行くか」とお迷いの方。

六月二十八日から交流がスタートした、香良洲町へ足を運んでみたいかがですか。

香良洲町については、先月広報七月号に紹介してありますが、いま香良洲町は海水浴の真っ盛り。車で片道三時間

三十分という距離は、日帰りコースとしても最適でしょう。

家族連れで、またサークルや団体でお出掛けになる場合の詳しい地図と、宿泊、観光案内、そして交流希望団体との連絡調整先を載せた総合案内書が、広報に併せて配布されますが、みなさんに関係の深い窓口は次のとおりです。

- 総合案内および家族、グループによる交流⇒役場企画課（有線二一六八）
- 子供会・婦人・青年団体研修⇒役場教育委員会（有線二一七二）
- 老人クラブ交歓会、福祉団体との交流⇒役場民生課（有線二一六二）

投票率八十一・七八パーと

前回並み

― 参議院通常選挙結果 ―

七月二十三日、第十五回参議院議員通常選挙の投票が、村内五か所の投票所で一斉に行われました。

村全体の投票率は、八十一・七八パーと前回並み。開票は、午後七時から村民センター大集會室で始まり、午後九時三十分を終了。開票の結果は次のようでした。

岐阜県選挙区選出議員選挙⇒投票総数二千二百五十七票、有効投票二千二百一票、候補者別得票数（届け出順）松岡清百五十六・七六八票、高井かずのぶ七百三票、杉山れいじょう千二百七十一票、児玉淨司四十七・二三一票、河瀬和雄二十三票
比例代表選出議員選挙⇒投票総数二千二百五十七票、有効投票二千二百五十一票、政党等の得票数（上位七位まで記載）以下（省略）自由民主党千八十八票、日本社会党六百五十三票、日本共産党百十六票、公明党百一票、民社党八十八票、第二院クラブ三十票、スポーツ平和党二十一票。

歴史の証言・立村百年の記録（第十六話）



なべて煮た繭から糸をつむぐ

岐阜県 岐泉郡 立村 養蚕の歴史

たものであるが、今では村内でその姿を見ることができず、残っていたら教えたいものです。 「年々桑園面積増加、尾張地方ヨリ苗ヲ購入スル、而シテ種類ハ主トシテ、青市、赤市、魯桑、綾錦ノ接木ヲ購入ス」 この時代に植えられた魯桑と

の歴史を物語るものとして、養蚕組合が中心になって保存が計画されています。 戦前において、養蚕が最も好況であったのは大正八年、この時の養蚕農家四百五十四戸、とれた繭が二万六千貫余（九十八ト）、養蚕農家一戸当りの粗収入が六百九十四円となりました。

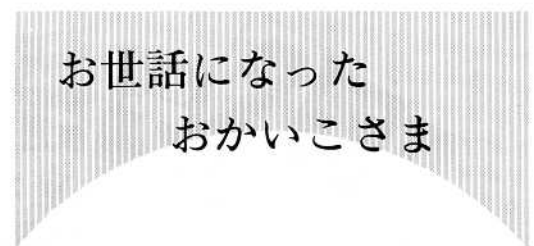
の贅沢という時代も、ようやく昭和三十五年ころから明るさが見えはじめました。 農業構造改善事業で桑園を造り、東海地方では初めての自動稚蚕飼育所を造り、そして私たちの村で開発された一段台車育という飼育方式は、全国的なモデルとなって注目を集めました。

さてクイズです。蚕の繭一個からとれる糸の長さは、何メートルぐらいかご存知ですか？ 人類はいつごろから、この糸を衣服にすることを覚えたのでしょうか。しかもこの糸は、いつの時代も最高級の天然素材として人々を魅了してきました。

とつが神土村平に開設されたことによつて、村の養蚕は大きく前進しました。 明治三十八年の役場の記録に次のような一文が残されています。 「本村内桑樹反別ハ総計五十七町歩位ナレ共、其内三十二町歩ハ桑園ノ休ヲ為シ、他ハ見積リ反別ニシテ、宅地、圃場境界等ニ栽培ス」

今も残る桑の大木 東白川村の養蚕の歴史は、少くとも四百年以前からというのと以外は、その起源は分りません。 明治に入ってから、養蚕は有利な副業として奨励され、農家のほとんどが大なり小なり蚕を飼育するようになりました。 しかし、飼育技術もまだ確立されず、夏蚕一回だけでした。

「高木造り桑園ニ於テハ、一反ニ付、春蚕ノ際二百貫、秋蚕ニハ七十貫を収業シ……」 ここで高木造りというのとは飛驒桑と呼ばれる突っかい棒をした飛驒桑



お世話になった おかいこさま シルクがたどった浮沈の歴史

戦後の混乱期は、衣・食・住のうち何と云っても食が第一である、ということを知り知らせてくれました。 ましてやシルクなどは贅沢中



素朴であたたかみのある紬が生れる

村の農業にこれだけ大きな地位を占めていたために、大正末期からの不況の嵐は壊滅的で、これに続く戦争のために、敗戦の年昭和二十年には、繭の収量も六千七百貫（二十五ト）と激減しました。 さて、繭一個からとれる糸の長さ、その答は、およそ千四百メートルでした。 蚕は、まさにハイテク顔まけの昆虫です。

村の養蚕の歴史の中で昭和三十五年から五十年までは技術的に最も充実した時代で、岐阜県の養蚕をリードした時でした。 かつて、世界の婦人のあこがれだった絹織物、次々と生れた化学繊維の洪水の中で、消

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

連絡先 商工広報係 有線2155番

初の三集落合同盆踊り大会

「さあー来いノツチノコ男」
「やるかーノあきノリター」
浴衣姿の子供たちが取り囲むやぐらの前で、今井明德さん演じる「あきノリター」と、中島甲子生さん演じる「ツチノコ男」の対決に歓声が飛び交う。



楽しい余興に子供たちは大喜びノ



受賞を手にほほえむ栗本昌子さん

おめでとう可茂地区で優秀賞

平成元年度「可茂地区少年の主張」ブロック代表選考会で、東白川中学校二年、栗本昌子さん(平)の作品が優秀賞に選ばれました。

この選考会は、可茂地区内二十三校の中学校から、岐阜県少

年の主張大会への出場者を選ぶもので、各市町村から推せんされた代表者九名の作品について、審査が行われました。

優秀賞になった栗本さんの作品は、去る六月十日に行つた村の主張大会で、内容・話術・態

度の三項目について審査を受け代表となったもの。

「家族のために」と題したこの作品は「思いがけない祖父の交通事故から、家事一切をまかされる中で、家族の一員としての自分を厳しく見つめたものです。一受賞の喜びを「貴重な体験が出来て、一回り大きくなれました」と語る栗本さんです。

夏の中学校体育大会 男子バレー県大会出場

青少年のスポーツ大会が目白押しとなった夏休み、東白川中学校では、七月二十一日から始まつた中学校体育大会に、七種目、百二十九人が出場して県大会をめざしました。

結果は、男子バレーボールが順調に

郡、地区大会ともに準優勝でコマを進め、七月三十一日に各務原市総合体育館で行われた県大会に出場しましたが、惜しくも二回戦にコマを進めることは出来ませんでした。

しかし、生徒数の減少で部活動の種目削減が余儀なくされている中で、昨年出場を果せなかつた地区大会にも、今年、女子バスケ、ソフトボール、野球、

下親田に槌の子探索コース

七月二十六日、下親田の子

神社を起点に、一周二日の「槌の子探索コース」が出来上りました。これは、探そう会と旅館、関係者らの提案で、今なお横浜、松坂あたりから毎週のように探

索に来る人たちが、「槌の子探したい」という来村者らの受け入れに答えたものです。コースは、ちびっこ広場から順路に従つて一周できます。



ひと味違う 巳年の脱皮



脱皮した蛇の皮は、さほどめずらしくありませんが、平の大坪克明さんから届けられたこの皮、頭の前から尾の先まで傷おり、しっかり目までありました。

おしらせ



防災週間
(8月30日～9月5日)

道路標識にご意見を!!

「標識が見にくい」「ここに道路標識があつたらいいのに」と思われたことはありませんか。そんなドライバーや歩行者らの声を聞く「標識BOX」(標識意見箱)が、県警本部と県庁の二か所に設置されました。目的地までの距離表示が違っていたり、道によって地名の表記が違ふなど、おかしな表示や不親切な標識が目立ってきたため、全国にこの標識BOXを設置し改善をしようというものです。

標識BOXへの意見は、手紙または、はがきでOK。たとえば、国道や他県のことであってもフアクシミリで電送し、担当官庁で検討することになっていきます。また、意見書に住所・氏名が書いてあれば、直接本人へ回答があります。

意見先は次のとおり
郵便番号五〇〇 岐阜市数田

① 県庁内、県警本部標識BOXあてか、県庁標識BOXまで

マイホームづくりに 利子補給制度

マイホームの建設は、一生一代の買物です。長期的なプランを立てていても、気の遠くなるようなローンの返済には頭を悩ませられます。

そんな、あなたのマイホームづくりにも少しでもお手伝いができればと、岐阜県土木部住宅課では、借入金利息の一部を助成しています。

この制度(住宅建設利子補給制度)は、個人住宅の利子補給を目的に、借入利率の一・五割以内の額を五年間にわたって助成するもので、この七月十日から平成元年度分の受付が始まっています。申し込み期限は、九月二十九日まで。申し込みに当たっては、次の条件を満たしていることが必要ですが、この制度の利用および問い合わせは、住宅

ローンを利用される県内の各金融機関へおたずねください。
(申し込みできる人)
① 県内に居住し、県税を滞納していない方
② 県内に自から居住する住宅を新築(購入を含む)または改良する方
③ 金融機関の住宅ローンを利用する方(借入金百万円以上、十年以上の償還、固定金利型利用)
④ 平成元年四月一日から二年三月三十一日までに③のローン契約を結ばれる方

可茂消防職員 募集します

可茂消防事務組合では、平成二年度の職員採用試験を行います。

- 一、受験資格
(1)平成二年三月高校卒業見込みの男子
(2)可茂消防事務組合管内に居住する者で通勤可能な者
- 二、受験手続
消防本部総務課及び各出先機関で受験申込書を受け取り、履歴書・成績等調査表・診断書・写真を添えて、消防本部総務課まで提出してください。
- 三、受付期限
八月十五日から二十五日まで

進めています=ふるさとづくり

◆座談会の意見を生かして/
「水道計画」をテーマにした座談会が、7月4日から12日間におわって全集落で開催され、382人の出席がありました。皆さんの貴重なご意見は、現在進めている「第2次東白川村総合計画の見直しの中に盛り込んで計画づくりを進めています。

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています) —敬称略—

【下親田】一木線改良舗装工事・本洞橋～有田亨・延長 592m・25,200千円・丸登建設(株)・12/20・村 ▶ 基幹農道法面工事・村雲次郎～安江桂・20,806千円・丸ス産業(株)・10/16・県

【中谷・加舎尾】基幹農道法面工事・田口時男～田口芳宏・安江政年～安江達典・27,295千円・(株)飛鳥工務店・11/10・県

【西洞】基幹農道法面・ブロック積工事・樋口敬一郎(上)・21,321千円・山田土建(株)・10/31・県

【曲坂】農道開設工事・菊田芳美(上)・19,261千円(簡)マルト土木・12/20・県

◆村民センターに冷房設備
おましたせしました。村民センターに皆さん待望の冷房が入り8月から利用されています。利用出来る部屋は、これまで暖房設備が入っていた全室です。使用料については、暖房同様に電気料分を使用料に加算して納めていただくことになります。

シリーズ 思いやりと暮らし || その十四 || 立場を変えてみる

自分を見詰めて溜息をついたことはありませんか? 相手と比べて「あああ……」と溜息。逆の場合「ふふふ……」と満足することになりますか……。でも互いに精一杯生きているのに比較するのは変ですね。

『道、踏まれても怒らず』という言葉があります(論語)。踏まれても唾を吐かれても何も言いません。道はおおらかです。全てのものを受け入れます。私たちも立場を変えて一度見詰めてみると良いかも……。

今月の図書



母の涙 父の一言

扇谷 正造著

人は、逆境や不遇にあるとき、思い浮かぶのはふるさとであり、子供時代への回想であると思います。コミュニケーションがないと云われる今、親子の心のつながりとは何か、父親とは、母親とは——自分の人生に刻まれたあの瞬間………珠玉のエッセイ集を是非読んでみてください。

夕暮れに苺を植えて

足立 巻一著

昭和の初め、関西学院中学生だった著者が出会ったひとりの教師——人生のあらゆる場面に情熱をこめた強烈な生き方は、幼い一人の生徒の人生を決定づけてしまった。ここに描かれたのは、教師として父親として男として精一杯生きた師弟愛の物語りである。

ふるさとのことば ⑧

☆いろいろむ

秋が近づいて、さまざまな果物が熟する季節になりました。「稲やよういろんだ」と安心するころも間もなくです。ところ、この「いろいろむ」という話は「植物やその実などが成熟して色がつく」ことをいいますが、どうやら古語で美しくいふ意の「いろろ」が語源のようです。和泉式部の歌に「いかばかり思ひおくとも見えざりし露に色へる撫子の花」とありますが、こんなふうで考えると、「いろいろむ」という語は、何か雅な言葉に思えてきます。



果実などが成熟することについては、「いろいろむ」のほかにも表現があります。まず「あこうなる」という語があります。多くの果実類は熟すると赤くなるので、この語が生まれたのでしょうか。「あこう

なつたら、もいでもええぞ」などと、私たちは遣い馴れてきました。「ずくす」ともいいます。これは「熟す」が訛ったものだと直感することができます。「ずくす」ともいうので、もうちょっと待つとれ」と果物をちぎる

ことを待たされたものでした。「ずくし」は「じゅくし(熟柿)」だと、これも分かります。また「うむ」ともいいます。「よううんでから、もげよ」と柿の木によじのぼる子供たちに遠くから呼びかける姉さんかむりのお母さんの姿は、もう記憶の世界だけになりました。栗のいががはじけたり、柿の実の表面にひび割れがはいったりすることを「えむ」といいます。子供たちが栗のいがをちぎって、割っていると「そうあわてずに、えむまで待て」といましめられました。ところ、この「えむ」という語は、土地の表面がいまにも崩れそうにひび割れている場合にも遣います。災害の起きる季節です。くれぐれも注意しましょう。

私の一品

岩の意外な事実



中央の大小2つの石が火山弾

あなたは、こんな経験ありませんか？

「処分しようと思ったものに、意外の価値があった」ということを……

大沢の今井満洲男さんは、この夏そんな体験をしました。先代のころから押入れにしまい込んであった岩石類数を片づけようと、庭先に出していたところ鮎釣りにきた客から思いがけない話を聞いたのです。「これはめずらしい形をした火山弾や、相当の値打ちがある。ぜひ売ってもらえないだろうか」

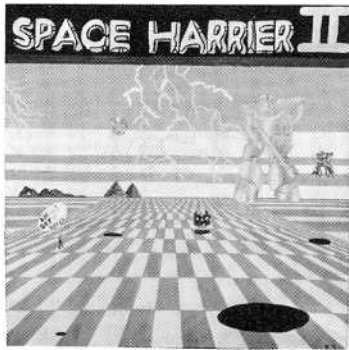
と言うのです。よく聞けば、この形はカツオ節と呼ばれ、噴火口の近くに飛散しているもので、日本では伊豆半島の三原山・三宅島・富士山などの玄武岩の火山にみられる火山弾だったのでした。

火山弾を辞典で引くと

噴火によって上昇したマグマが、まだ固結してしまわないうちに爆発によって飛散したもの——と記され、形は、円形・だ円形・紡錘形・カツオ節状の四種類が挙げられています。そもそもこの石は、先代の興市さんが材木の仲買人として富士市で働いていたところに持ち帰ったもので、今から百年前のこととす。もし、この火山弾が富士山の噴火時のものだとしたら、時代は一挙に大昔にさかのぼってしまいますが、二百〜三百年に一度の割合で大噴火を繰り返したという富士山の、最も新しい噴火は宝永の時代(約二百八十二年前)といわれ、しかも第一級の激しい爆発であったと記録されていることから、その当時のものかもしれない。

数点の溶岩をはじめ、カツオ節状の長さ六十一センチと二十センチの火山弾は、この日から今井家の一品となり、秘められた謎の解明に富士市を訪れたいという今井さんの研究が始まりました。

私の作品



▲レコードジャケット
東白川中学校3年安江良浩さん(加舎尾)



▲立村百年PRポスター
東白川中学校2年今井宏美さん(大沢)



菊田賢次くん(二歳一陰地)
幸雄さん・和子さん長男

すくすく育て



▶県歯科コンクール出展作品
東白川小学校五年
安江志保さん(大明神)

短歌



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

○梅雨明けの田の水光り鯉の種魚小さきささ波つくりて泳ぐ 早瀬 勇造

ほのぼのと掌紅く紫蘇揉みて梅漬け込みぬ午後の静けく 田口 一枝

○梅雨出水岩にたぎちてすさまじく白く泡立ち渦巻き流るる 安江 節子

命日に桶子生けて亡き夫の愛でし香りの漂ふに坐す 古田よし江

○雨上り庭の窠みの水に來て雀浴びゆく昼の静けさ 今井 かな

○蔓ささげ支柱一ぱい伸び足りて空をまさぐり又戻りくる 伊藤 美枝

側溝に泥んこのホース捌きつつ洗ふ夕べを蜩の鳴く 安江 澄

池に浮く魚の屑をあさりゆく裡の親仔は人を恐れず 早瀬 久子

日続きのうるさき雨間コートにてテニスファンの友と楽しむ 安江 守平

鮎かけの竿林立する解禁日午後より雨にて川は増水す 安江すみよ

○「重の井の子別れ」演ずる地の人に太樫の語り濡れて響けり 小池きぬゑ

釣り人ら帰りに静かに鮎たちも睡るか川面に夕靄こもる 三戸 きり

脱ぎ捨つればドサリと音のする程に汗じみしシャツ替えて昼食にす 安江 幸

松島の露店の亀は干上りて親亀仔亀孫亀さわぐ 安江 龍玉

諍ひは止む時もなしささやかな自己主張なし山麓に老ゆ 田口 巽午

戦争の罪は黒ずむ樹脂吹けり境界は残る松の古傷 安江 香

わが好む巾着帽子を先帝もよく冠られし散歩の折など 桂川 熊吉

○沁みつきしこはかとなき古き香に埋れて今日も古物整理す(村の文化財整理) 伊藤 重雄

スピードも又ハイテクこの辺でやめて呉れぬか人類のため 山川 洸

梅雨どきの日照雨に濡れて盆栽を離れぬ吾をBABABAが叱る 田口 良三

選者言 ここに毎月採選させて頂くのは各人作品の数首以上の中からの一首宛ですし、各首上部の○印は必ずしも全体のうちで順位的につけたものではなく、各作者のその月の歌の中で特に佳とするものを加えてあります。尚新しい人の出詠を歓迎します。